

千葉県立袖ヶ浦高等学校 スクール・ポリシー

○育てたい生徒像

- ・ グローバルな視点を持ち、地域に根ざした活動を推進できる生徒
- ・ 自分のアイデアを自分のことばで表現できる生徒
- ・ 自ら課題を発見し主体的に解決する過程を通し、自己の未来を創造できる生徒
- ・ 情報化社会に対応し、自らが主体となって情報を適切に取り扱う態度を持つ生徒

○スクール・ポリシー

①「育成を目指す資質・能力に関する方針」

- 情報機器や言語をコミュニケーションの道具として自在に活用する力を育てます。
- 資格（英検、ITパスポート等）取得に果敢にチャレンジするなど、将来へのキャリア意識の醸成を図ります。
- 部活動や地域との協働に主体的に関わり、地域から愛される人間力を育てます。

具体的取組：表現力やコミュニケーション力を磨く体験プログラムや発表の場を設けます。
資格取得を奨励し「対策週間」の設定等による支援を行います。
地域の美化活動・振興活動等に積極的・戦略的に協力します。

②「教育課程の編成及び実施に関する方針」

- 希望する進路実現に必要な知識・能力を確実に習得できる教育課程を編成します。
- 的確なアウトプット能力を育成できる授業を教育課程に組み入れます。
- 読み聞かせ、地域人材活用出前講座、異校種交流授業等の地域との連携交流事業への参加や部活動の振興を通し、生徒と地域が相互に成果やメリットを共有できる活動の推進を図ります。
- パフォーマンス評価の推進により、「何がわかったか」からそれを「どう生かすか」に発展させる教育活動を重視します。
- 『袖Q』（質 Quality、探究 Quest、能力 Qualification）を意識した、教科横断的な授業を実践します。

具体的取組：総合的な探究の時間（本校通称「J-time」）を活用します。
地域連携交流事業等、あらゆる校内外の活動への参加を奨励します。
国内外との交流の機会を作るなど語学（英語）力向上の取組を推進します。
単位認定（自立活動、資格取得）を推進します。

③「入学者の受入れに関する方針」

- 集団の一員としての自覚を持ち、自らの体験やアイデアを自らのことばで表現しようとする生徒
- 社会に貢献する姿勢やたくましく社会を生き抜く知力・体力・精神力を持つ生徒
- 自ら課題を発見し、主体的にその課題を解決しようとして自己の未来を創造できる生徒
- 他者と協働しながら、授業・部活動・学校行事等に意欲的に取り組む生徒

具体的取組：学業と部活動の両立や、積極的な学校行事への参加を奨励します。

Webサイトや学校説明会等を通した広報活動を推進します。

あらゆる角度から自己表現力を評価する選抜を実施します。